

# 海事資料 FAX 短信

Vol.129 2007.12.10

(財)日本海事広報協会・海事情報部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580  
ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail [jo-ho@kaijipr.or.jp](mailto:jo-ho@kaijipr.or.jp)

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が、最近発行した機関誌や海事関係資料、海事団体のイベント情報などをご紹介します。機関誌や海事資料は、当会海事情報部で供覧しておりますので、ぜひご利用下さい。

## \* 機 関 誌 ・ 広 報 誌 \*

特集 海の新時代 ~ 海洋基本法と海事行政 ~

「国土交通」11月号 運輸振興協会

同海洋政策に係る基本理念、国・地方公共団体等の責務、基本的施策等を盛り込んだ海洋基本法が7月20日施行。政府は海洋政策を集中的・総合的に推進するため、内閣に「総合海洋政策本部」を設置するとともに、海洋基本計画を策定することとした。03-3221-8432

2007上半期IMB海賊レポート概要

「せんきょう」秋季号 日本船主協会

国際商工会議所の下部組織「国際海事局=IMB」によると、2007上半期の世界の海賊事件報告件数は126件で、昨年同数だったが、被害者数は17%増の238人だった。東南アジアで発生件数は減少したが、アフリカでは増加。人質・誘拐事件が多い。03-3264-7181

第十二回「海の日」を終えて

「うみ」No.41 海事振興連盟

大山高明日本海事新聞代表は「平成13年施行の祝日三連休化法で"海の日"が軽い扱いを受け、7月20日から7月第3月曜に変更された。観光開発による経済効果を目指したが、実態は目論見外れ。"海の日"は7月20日に戻すべき」と主張。03-3265-1926

十勝港飼料コンビナート建設が決定

「港のたより」Vol.83 寒地港湾技術研究センター

全国唯一、町が港湾管理者の北海道広尾町では、「飼料コンビナート」と「フェリー」事業が挫折、同町の財政を直撃していたが、港湾債の借換えや地道なポートセールスにより、飼料サイロ及び工場を進出させる企業も出てきた。011-747-1688

東京湾のコンテナフィーダー輸送

「港湾」11月号 日本港湾協会

京浜港間でのプッシュバージによるはしけ輸送が注目されている。40フィートコンテナ84本を一度に輸送可能で、雨天時の離着岸も安全、曳航方式よりスピードもあり、国際コンテナの横持ち輸送を陸から海へシフトし、ゲート周辺の混雑緩和にも寄与できるという。03-5549-9575

来島海峡の潮流情報が電光文字に

「海上保安新聞」第2831号 海上保安協会

海の難所、来島海峡は潮流の方向で通航する航路が変わる。従来は赤丸と黒角の形象物を腕木式で操作し、北流、南流を知らせてきた(一部灯光式)が、海上保安庁では、5~6kmの距離から肉眼で確認できる電光文字に切り替える計画を進めている。03-3297-7580

フェリー・旅客船の安全対策を追う

「海と安全」冬号 日本海難防止協会

国土交通省は、平成18年、輸送に関する安全管理規程に対応した運輸安全マネジメント態勢の構築を制度化した。従来、現場中心だった安全への取り組みが、事業者一体で行われることとなった。各運輸局に同17年から運航労務監理官が配置され、制度を担保する。03-3502-2231

ニュースの窓 船の燃費基準作り

「マリッジ」No.731 日本船舶機関士協会

国土交通省は来年度から大型船舶を中心にした燃費基準を新たに作る。世界的な造船の受注競争の中で船舶の省エネ性能をアピールし、競争力を高める狙いもある。来年度から3年間かけ共通の条件で燃費性能を測る指標をつくる。03-3264-2518

「品管時報」11月号 日本船舶品質管理協会

海事産業の次世代育成推進会議 03-3253-6201

「Marine voice21」Vol.258 日本埋立浚渫協会

鹿島港(世界最大級の掘込港湾) 03-5549-7468

「作業船」No.289 日本作業船協会

環境に配慮した浚渫作業を目指して 03-3271-5618

「なつしま」第43号 海洋研究開発機構

「しんかい6500」安全検査終え潜航調査へ 046-866-3811

「海上防災」No.135 海上防災事業者協会  
 イド・ネアとの連携訓練等の実施 045-225-0263  
 「海運」11月号 日本海運集会所  
 遭難船を助けるためには 03-5802-8365  
 「日造協」第398号 日本造船協力事業者団体連合会  
 技能センター新人研修修了者1.5倍 03-5510-3161

「海事法研究会誌」11月号 日本海運集会所  
 中国海商法における仮渡し・保証渡し 03-5892-8363  
 「大阪港」No.285 大阪港振興協会  
 南港の歩んだ50年 06-6463-7282  
 「日本倉庫時報」第1165号 日本倉庫協会  
 物流フォーラム かび保険加入状況を報告 03-3643-1221

## \* その他海事資料 \*

### 日本の海運を紹介したパンフレット 「Shipping Now 2007」を発行

(財)日本海事広報協会は、(社)日本船主協会の協力により、私たちの暮らしを支えている日本の海運を紹介した上記パンフレットを発行した。

A4判20ページ、写真入りで、日本の貿易量の99.7%に当たる9億6千万トンを送出している日本の海運の現状をわかりやすく解説。

衣食住の原材料やエネルギーの輸送は、コンテナ

船や専用船、タンカー、LNG船などによって支えられているが、それぞれの船を写真入りで紹介するとともに、国内輸送に従事する内航海運や環境問題への取り組みなども紹介している。ほかに「船のいろいろ」では、写真と図に説明文を加えて船毎の特徴を紹介。各ページ下段には統計欄があり、例えば「主要品目別海上荷動き量」や「エネルギー原料の輸入依存度」「主な工業原料の輸入先」などのデータが得られる。ほかに「海運用語集」も掲載。  
 (連絡先: (財)日本海事広報協会事業部 03-3552-5033)

## \* 海のイベント情報 \*

### 横浜開港キャンドルカフェ150を開催

2009年に開港150周年を迎える横浜港で同イベント実行委員会と(財)横浜開港150周年協会主催で標記イベントが開催される。

家族や恋人と共にドリーミングシートにメッセージを書き込み、自分の手でキャンドルを点灯する。地域に密着した市民参加型の「港の祝祭」。

開催期間：12月21日(金)～24日(月)

開催場所：日本丸メモリアルパーク/ナビオス横浜/新港8街区

参加費：600円(税込)

開港150周年のオリジナル・ノベルティ

「HAMAキ-ブ150」の贈呈と苗木プレゼント付

\* 12月21日(金)18:00～に日本丸メモリアルパーク特設ステージでセレモニーが行われるほか、24日までコンサートライブが予定されている。

### 船から見る風景100選大募集

船から見る風景100選実行委員会(社団法人日本旅客船協会・国土交通省)では、貴方だけが知っている船から見えるお薦めの風景を前期・後期に分けて募集している。前期の募集は終了しているが、後期は平成19年12月1日から平成20年5月5日まで募集する。

応募方法は、コメント(200字以内)、撮影データを記入の上、写真と一緒に応募。

撮影は、レンズ付きフィルム・デジタルカメラ・携帯電話など何でもOK。応募フォームはホームページ上でダウンロード可能。

送付先、賞金、選考方法などはホームページで確認を。詳細は、(社)日本旅客船協会内「100選」係まで。

電話：03-3265-9093 又は e-mail: info@fune100.jp

「FAX短信」についてのアンケートにご協力下さい。

アンケートは当協会ホームページ(<http://www.kaijipr.or.jp>)の「書籍販売」をクリックし、その中の「FAX短信」の欄にあります。